

小中連携教育コーディネータ概論

「ハイブリッド型授業のデザイン」

久世 均(岐阜女子大学)

「ハイブリッド型授業のデザイン」

【目 的】

未来社会を見据えて育成すべき資質・能力を育むための「新たな学び」やそれを実現していくための「新たな学びの空間」を形成するためにICTを効果的に活用することが重要である。

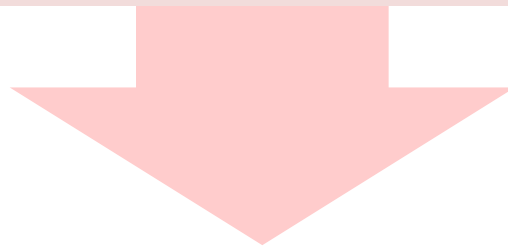
さらに、ICTを活用することで、チームとしての学校の経営力を高め、教育の質の向上と教員が子供と向き合う時間的・精神的余裕を確保することにつながる。そこで、ここでは遠隔授業の教育利用・研究での課題について考える。

【学習到達目標】

- ハイブリッド型授業について具体的に説明できる。
- ハイブリッド型授業について授業設計ができる。

子供たちの未来

- 子供たちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く
キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）
- 今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い
マイケル・A・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）
- 2030年までには、週15時間程度働けば済むようになる
ジョン・メイナード・ケインズ氏（経済学者）
- 日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に
（2015年12月02日 株式会社野村総合研究所）



現在の職業の多くは、今後なくなっていく

新しい時代に必要な資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

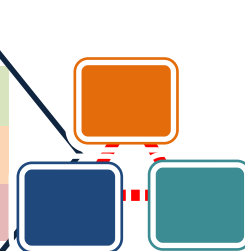
どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

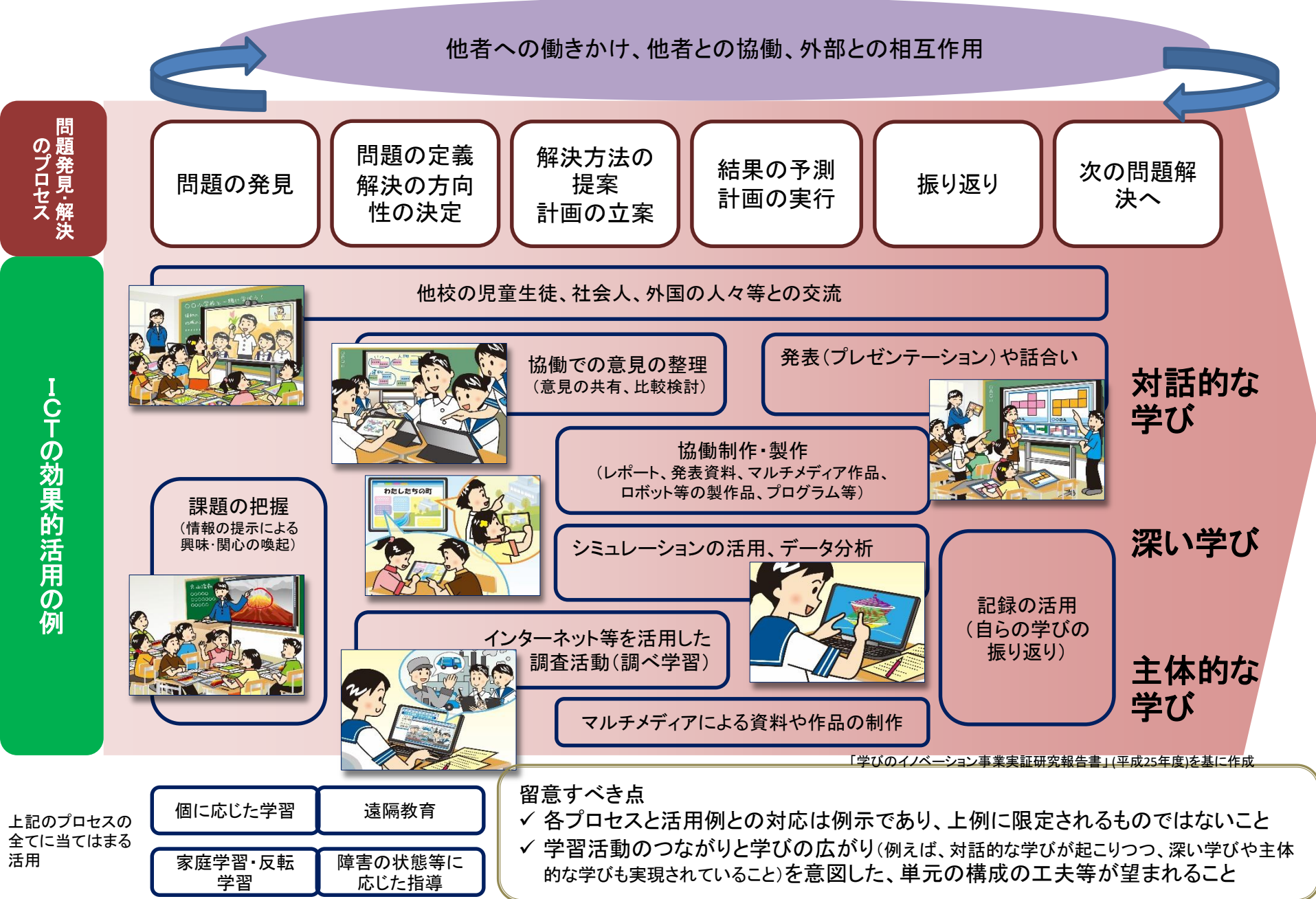
生きて働く知識・技能の
習得など、新しい時代に
求められる資質・能力を
育成

知識の量を削減せず、質
の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

深い学び
対話的な学び
主体的な学び



アクティブ・ラーニングの視点に立った学習プロセスにおけるICTの効果的活用の例



「ハイブリッド型授業のデザイン」

1. 遠隔教育

未来社会を見据えて育成すべき資質・能力を育むために「**新たな学び**」やそれを実現していくための「**新たな学びの空間**」を形成するためにICTを効果的に活用することが重要である。

さらに、ICTを活用することで、チームとしての学校の経営力を高め、教育の質の向上と教員が子供と向き合う時間的・精神的余裕を確保することにつながる。

2. e-Learningと遠隔授業を組み合わせた授業構成

ハイブリッド型授業のパターン

- a. ハイフレックス型授業
- b. ブレンド型授業
- c. 分散型授業

ハイブリット型授業のデザイン

ハイブリット型授業とは、対面授業とオンライン授業とを組み合わせた授業システムのこと。

1

ハイブリット
型授業Ⅰ型

対面授業

e-Learning

対面授業

e-Learning

e-Learning

対面授業

繰り返し

2

ハイブリット
型授業Ⅱ型

対面授業

e-Learning

対面授業

3

ハイブリット型
授業Ⅲ型

e-Learning

4

教育リソース

テキスト

インストラクショナルデザインによるテキスト作成

デジタルアーカイブ

講演・実践の映像、資料のデジタルアーカイブ

質疑・応答

Zoomやグループウェアを活用した質問対応

課題

1. 遠隔教育の変遷について説明しなさい。
2. ハイブリット型授業の3つのパターンについて、具体例を挙げて説明しなさい。
3. ハイブリット型授業を具体的に企画しなさい。
4. ハイブリット型授業の課題について具体例を挙げて説明しなさい。
5. 遠隔教育の必要性について具体例を挙げて説明しなさい。
6. 遠隔協働学習を企画し、実際にやってみなさい。

「ハイブリッド型授業のデザイン」

【目 的】

未来社会を見据えて育成すべき資質・能力を育むための「新たな学び」やそれを実現していくための「新たな学びの空間」を形成するためにICTを効果的に活用することが重要である。

さらに、ICTを活用することで、チームとしての学校の経営力を高め、教育の質の向上と教員が子供と向き合う時間的・精神的余裕を確保することにつながる。そこで、ここでは遠隔授業の教育利用・研究での課題について考える。

【学習到達目標】

- ハイブリッド型授業について具体的に説明できる。
- ハイブリッド型授業について授業設計ができる。

小中連携教育コーディネータ概論

「ハイブリッド型授業のデザイン」

久世 均(岐阜女子大学)